



グループホームあさひが丘



ディズニーランド

2013年度を振り返ると、ホームでは今年度もいろいろな行事に参加しました。

ゴールデンウィークに、大隅方面へあくまき体験やかのやばら園に出かけ、夏休みはフォントナの丘にて温泉・バーベキュー、サマーナイト花火大会、9月は東京旅行に行きました。秋には、運動会、みかん狩り、バザーに参加し、利用者の思い出に残る行事となりました。

一般就労では、順風満帆とはいかず、会社や就業センターとの話し合いの場を多く設けました。障がいを持った方の一般就職の難しさを痛感した1年となりました。

ホームの利用者は、地域で生活していますが、これからさらに地域の方と交流を深めていきたいと思っています。2014年度は6つ目のケアホームができ、さらに8名の利用者が新しくホームを利用する予定で、最大34名になります。利用者が1番楽しみにしている旅行では、希望を叶えるため、新たな行先を検討したいと思います。(海外デビューもあるかもしれません!!)

チーフ支援員 小中原 多智子



春山地区運動会



あさひが丘相談支援センター

鹿児島市においては平成25年度中にこれまで福祉サービスを利用していた利用者について、福祉サービスの更新手続き時にサービス等利用計画案および児童支援利用計画案の作成、提出が求められていました。

あさひが丘相談支援センターにも利用計画の作成依頼を多数いただき、ご本人や保護者、利用事業所担当者等の面談を重ねて作成をしてきました。

これまで長く関わりを持っていた利用者の方も改めてじっくりとお話を聞かせていただけた良い時間を持ってたと感じます。今後は一定期間ごとに計画の見直しをしていくこととなります。住み慣れた地域での生活がより良いものになっていけるように皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。また、初めて福祉サービスを利用される方にとっては相談支援事業所は大事な入口になると思ひますので、相談しやすい場所であるよう努めていきたいと思ひます。 チーフ支援員 新澤 杏奈



お問い合わせ

社会福祉法人 落穂会
地域生活支援センターあさひが丘
鹿児島市岡之原町1392番地

TEL 099-243-1112

FAX 099-243-1070

<http://www.asahigaokagakuen.jp>

E-mail: chiikiasahigaoka-center@po2.synapse.ne.jp

地域生活支援センター

平成26年5月 NO. 4



あさひが丘だより



3月16日
グループホーム新年会

つつじの花が山に彩りを添える季節の中、今年度から新たに児童発達支援「歩路」を利用する子ども達がやってきました。初々しさがセンター中を駆け巡っています。昨年から利用している子ども達は緊張がとれ、伸び伸びした表情で過ごしており、時の経過と子ども達の成長を感じます。

日中は、就労継続支援B型「あすもね」が新たな内職作業に励み、夕方は、放課後等デイサービス「我路」の子ども達がやってくるにぎやかに毎日が過ぎていきます。そして「グループホームあさひが丘」「相談支援」「ヘルパーステーションとわ」も地域で生活する方々へのニーズに沿って対応させて頂いています。相談支援「サービス等利用計画」を中心に皆様のご希望に沿ったサービスを提供させて頂きたいと思っておりますが反省点もでてきています。この反省点を改善し、活かす努力が必要であると感じています。1年経てど、まだまだ私達にとっては「始まり」。反省した後は前へ進まなくてはなりません。ひとつひとつの事を大切にしながら支援員一同、歩んでいきたいと思ひます。今後ともご鞭撻よろしくお願い致します。

ヘルパーステーション とわ
チーフ支援員 白坂 由希子

○放課後等デイサービス

2013年を振り返ると、大きなアクシデントもなく無事に子どもたちと過ごすことができました。子どもたち一人一人を見ても個人差はありますが、それぞれのペースで確実に大人に向けて成長しています。そんな子どもたちと、時には大人という事を忘れ子どもと一緒に喧嘩をしたり、ふざけ合ったり様々な場面で子どもたちと正面からぶつかってきました。そんな我路ですが今年一番力を入れたものが「活動の充実」でした。我路の活動は外遊びを基本としています。外遊びをベースにしながら、子どもたちが活動の中で社会性・ルール・友達とのかかわりが身につけられるよう活動を行ってきました。その事を念頭に置き、昨年は3グループに分けてファミリーレストランに出かけてきました。レストランでは、注文から支払いまで出来る限り子どもたちに体験してもらいました。注文した物がなかなか出てこず怒り出す子、楽し過ぎていつもより大きな声で話をしてしまう子、様々で個々の新たな課題も発見することができました。また、年末からは月に2回音楽療法士の資格を持っている本体施設の職員に依頼し音楽療法を実施しています。合唱や楽器演奏、リラックスタイムを交えながら1時間程活動しています。音楽が大好きな子どもたちばかりですので、ピアノの伴奏に合わせて元気な歌声が聞こえてきます。また、リラックスタイムでは体全体の力を抜き、心身ともにリラックスした子どもたちの表情を見ることが出来ます。現状維持に留まらず、新たな取り組みを交えながら少しずつ着実に子どもたちといっしょに成長・進化していきたいと思ひます。
チーフ支援員 別府希



絵の具あそび



ジョイフルに行こう



紙芝居



音楽療法

ヘルパーステーション とわ

昨年度、ヘルパーステーションとわで家事援助を利用し始めた方々がおります。男性と女性。それぞれ掃除が苦手であるとの事で依頼をお受けしました。週1回掃除、洗濯等のサービスを提供させて頂いています。掃除。障害があるに限りならず、苦手な人、得意な人、それぞれであると思ひます。私達ヘルパーにも掃除や片付けが苦手な人はきつというはず。それでも私達は利用して下さる方が自宅快適な生活が送れるよう掃除に洗濯、そして危険な物があれば除去し、ときには助言もさせて頂いています。掃除や洗濯といえど単に掃除をすればいいというものではないと思ひ、取り組んでいます。利用者の要望を聞き、プライバシーに入り込みすぎぬよう配慮が必要であり、物を置く位置、洗ったお皿の並べ方、触ってはいけない物、洗濯方法等、その家々の決まり事があり、(こだわらない方もいますが)それに沿って支援を行う事が大切だと思ひています。「きれいになって気持ちがいい」「過ごしやすくなった」等感じて頂ければ幸いです。ヘルパーステーションとわでは男性ヘルパーも家事援助の対応を行っています。重い物を運ぶ事が難しく片付けができない方、困っている方、是非是非、対応させて下さい。 チーフ支援員 白坂由希子

あとがき
1年を振り返って、各部署のこれまでの取り組みを紹介しました。それぞれに新しい取り組みをしてきましたが、今後もサービスを利用する利用者や地域から必要とされるように努めていきたいと思ひます。
(統括主任 前田卓)



ワークショップあすもね



○児童発達支援「歩路(ほろ)」

1月



1月、日中活動参観があり、保護者の方が来所されて、日頃の作業の様子を見ていただきました。普段とは違う雰囲気緊張した様子もありましたが、終始、集中して作業に取り組んでいました。

1月～3月



今年度も余暇活動として、個別の外出を企画しています。公共交通機関を利用して外出し、事前に購入するものや外出先での過ごし方などについても利用者に考えていただきながら実施しています。みなさん、楽しく参加されていますが、中には「少しずつ貯めてきたお給料がもったいない・・・」という方も。安全には注意しながら実施します。

昨年度、就労継続支援B型 ワークショップあすもねでは、作業種の拡大や安定した工賃支給を目標に作業の提供を行なってきました。昨年度に比べ少しずつ作業種も増えたことで、単純作業や手先を使った複雑な作業まで取り組む作業の幅が広がったように感じています。手先が器用ではなかった方が今では、難しいお菓子箱などを丁寧に折り込み、箱を作っていくようにもなりました。このような作業面だけでなく、基本的な挨拶、身だしなみ等も外部での作業を経験していく事で少しずつ「仕事」としての意識や姿勢に変化が見られた1年となりました。自分の出来ることを、ゆっくりでも達成することで、お給料をもらい、更に作業への意欲が高まるというような経験を、利用者の一人ひとりが経験出来たのではないかと感じています。来年度は、より安定した工賃を利用者の方に還元できるよう、作業種の拡大にも取り組み、自分が取り組んだ作業に対してやりがいや責任感を持って励むことの出来る場を提供していきたいと思ひます。 チーフ支援員 室屋



個別療育



朝のお集まり



自由遊び



運動会